

業 種／学術研究・専門・技術サービス業
 主な事業内容／地質調査業
 従業員数／355人(令和5年4月時点)

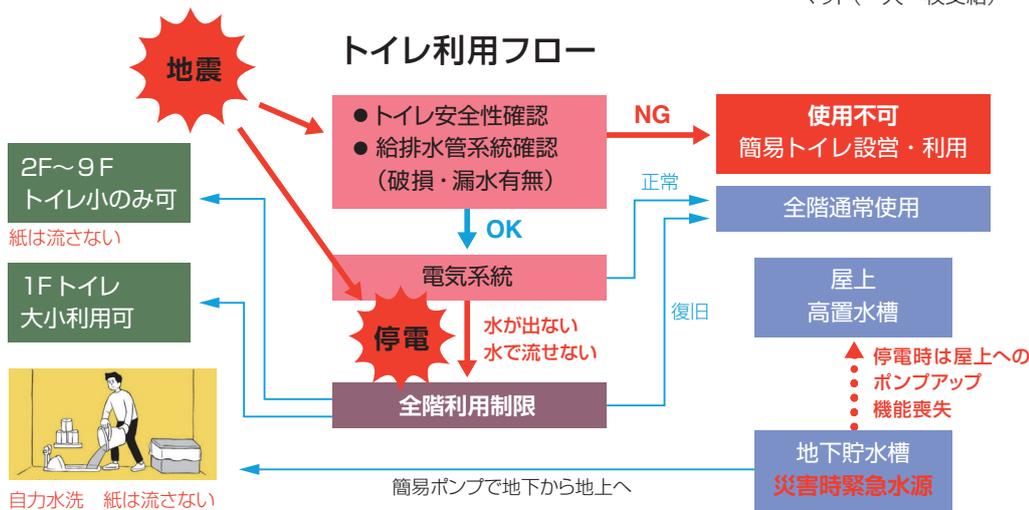
ビル内部の施設利用計画と帰宅時支援

巨大地震収束後、社内の専門家がチェックシートに基づいて施設の機能や損傷状況を調査し、社員用に滞在所を開設する。ビル内部にはパーティションで仕切られた5つの会議室があるので、有事に備えて災害対策本部用の部屋、男女別休憩室として定めた。

停電になった場合、地下貯水槽から屋上への水のポンプアップが不能となるため、トイレ利用に大きな支障が生じる。この問題を解決するためにトイレ利用フローを作成している。また、社員の居住地や利用沿線を参考に帰宅グループを定め、都が推奨する分散帰宅が実行できるように備えている。帰宅時や要請を受けた災害対応時には支援グッズを配布する。



休憩室のイメージ(奥2部屋も拡張予定)。シート中央にゴムマット(一人一枚支給)



帰宅時の支援グッズ一式が入った箱は机に収納可能